



Vol. 8 2



お雑煮にしてたべました！
おいしかった〜♪



つきたてのおもち
じぶんでまるめたよ〜



「子どもはみんな、違うんだ」

子どもを育てていると楽しいことや感動することがたくさんあるのですが、反対に「これでいいのだろうか」「どうしようか」…と悩みや不安で焦ることがありますよね。

私は小学校に入学する子どもさんのお家の方々へ、毎年次の詩を紹介しています。

覚えておこう
 子どもは、成長の設計図を持っている
 子どもは、その子の速さで伸びる
 子どもは、その子の時間で育つ
 子どもは、その子の図案で実る
 子どもは、その子の歩幅で学ぶ
 子どもは、その子の資質で生きる
 子どもは、その子の頭で考える
 子どもは、その子自身の人生の約束を果たす
 子どもは、みんな、違うんだ
 子どもを励まそう
 自分を大事にするように
 人との違いを生かすように
 全力でぶつかるとように
 よい実を結ぶように
 愛の心を感じるように
 この世の違いを認められるように
 命を敬うように
 確かな未来をつかむように
 忘れないでほしい
 その子は、この世にたった一人しかいないのだ
 子どもは違う
 一人ひとり、みんな違う
 そんな子どもがいるから
 この世にすばらしい
 違いが生まれる

詩を読んでいかがですか？私は、何度読んでも「そうだ、そうだ。」といつも納得しています。なぜかという
と、私が今まで教員として多くの子どもたちに出会ってきて「どの子どもその子のペースで絶対に成長する」と
確信をもっているからです。どうぞ、あせらずしっかり愛情を持って接してください。そして口に出してほめ
てください。子どもが自信をもつようになり、安定して意欲的になります。

しかし、ほめることはなかなか難しいですね。

- ・できて当たり前と思わないで、少しでもできたらほめる。
- ・できていない時（ことを）にせからず、少しできている時（ことを）にほめる。
- ・なかなかできない時は、いっしょにしてほめる。

など、ぜひ試してみてください。きっと子どものすてきな笑顔に出会えますよ。

どの子どもその子のペースで絶対に成長します。